



1 多くの新成人が見守る中、式典は厳かに進む 2・3 アトラクション（前沢一輪車クラブ アルスノーバ、BACK HOOD）が式典に花を添えた 4 奥州市民憲章唱和 5・6 新成人を代表して誓いの言葉を述べた佐々木さんと及川さん 7 新成人が企画した記念行事では中学校恩師がお祝いの言葉を寄せた 8・9 家族からの手紙の朗読に涙する新成人



平成28年度奥州市成人式

想い

28年度市成人式が1月8日、市文化会館（Zホール）で開催されました。華やかな振袖姿の女性や颯爽とスーツを着こなした男性などで賑わう会場入口では、至る所でささやかな同窓会が開かれ、新成人たちは友人との久しぶりの再会を喜んだり、記念撮影を行ったりしていました。

午後1時に開始された式典には、対象となる新成人1189人のうち984人が出席。新成人を代表して佐々木優汰さんと及川悠里さん（ともに水沢中出身）が「大人としての責任を自分で考え学び、正しい行動が取れるようになりたい」「出会いを大事にし、大人の自覚を持って、生まれた育った奥州市に恩返しをした

い」と誓いました。式典後には、実行委員会が企画した記念行事が開催。「二十歳になる君たちへ」では、中学校時代の恩師たちが激励のビデオメッセージを贈ると、懐かしい姿と声に会場からはたびたび笑いが起きていました。「家族からの手紙、20歳からの手紙」では、生演奏と成長を記録した写真をバックに、家族が新成人に宛てた手紙を朗読。温かい思いに触れ、涙する新成人も見受けられました。

ことしの成人式のテーマは「想い」。これまで新成人たちはさまざまな「想い」を受け取ってきました。その感謝を胸に未来へと進む彼らは、誰に「想い」を伝えていくのでしょうか。

【右上】会場入口の看板と記念撮影をする新成人 【右下】「奥州市民のうた」を合唱 【左上】「家族からの手紙」に応え「20歳からの手紙」をしたためる 【左下】実行委員長の鈴木 梢 竜さん（左）と副委員長の千葉彩花さん

